

コロナ禍を 乗り越えて

～ 学ぶ意欲のあるすべての女性のために ～

昨年12月に、中国武漢市で新型肺炎が発生したとの報告があったから、1年近くが過ぎました。報告後、瞬く間に世界中に拡大した新型コロナウイルス感染は、未だ沈静化する兆しを見せず、その結果、人々の様々な活動が制限され、これまで当たり前とされていた普通の生活が奪われました。そんな中で、学生や教職員の方々は、不安の中で不自由な毎日を過ごされていることと思います。特に、新入生の皆さまは、夢を持って入学された大学で、思うように対面授業を受けられなかったり、様々な活動ができなかったり、同級生等との友情を育てることができなったりすることに、残念な想いを抱いていらっしゃるでしょう。保護者の皆さまも、さぞご心配のことと思います。こうした事態は、第二次世界大戦の混乱の時期を除いては、大学の145年の歴史の中で初めての経験です。

大学は本来、多様な人々が共に学び、考え、議論を交わすことで、多くの智と新たな価値を生み出す場です。対面での活動は、学生の皆さまの心身の成長を促すとても大切な機会であり、教職員の方々にとっても、教育研究に新しい局面を開く機会ともなります。そういった大切な学びの機会が制限されるWith-Coronaの厳しい状況下にあっても、質の高い学びをつなぐために、オンライン授業において工夫と努力を重ねて来られた全ての学生・教職員の方々に、心からの感謝をお伝えしたいと思います。Before-Coronaの時代の学びとはかなり異質なものになるでしょうけれど、新しい時代の教育と研究の姿を構築すべくご尽力下さっている皆さまの熱意で、オンライン授業を十分に活用したハイブリッド型の教育を推進することで、これまで以上の効果を上げることが、不可能ではないと思います。まだ暫くはWith-Coronaの状況であることをしっかりと認識した上で、より進化した教育と研究の在り方を探って参りましょう。

今後、お茶の水女子大学では、この困難の中で学んだ経験を活かして、オンライン授業・オンライン会議・テレワークなどを大学の活動の中に有効に取り入れつつ、対面での活動を大切に「新たな教育・研究・大学運営」を構築すべく、検討を進めます。その過程では、学生・教職員の皆さまにも、一緒に考え、ご協力頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ただ、With-Coronaの状況が続く中で、生活に困窮を来したり、心が不安定になったり、いろいろな問題を抱える方もいらっしゃると思います。何かお困りのことがありましたら、ご遠慮なく事務の窓口や保健管理センター、学生相談室などにご相談下さい。学生の皆さまへの支援金や奨学金も用意していますので、どんな時にも学びを諦めたりなさらないよう、そして、焦ることなく、感染を防ぎながら、お茶の水女子大学での学びを楽しんで頂きたいと思っております。

なお、10月1日のビデオメッセージでもお伝えしましたが、今は、十分に注意をしても、誰もが感染の可能性がある状況になっています。どうぞ、ご自身や周囲の方が感染するようなことがあっても、ご自身を責めたり、他の方々に責めたりするようなことは、決してなさらないで下さい。万一そういったことがあっても、「新型コロナウイルス感染防止対策室」にご連絡・ご相談下さると共に、冷静に、最適な対処法を講じて下さい。大学は、全力を挙げて、皆さまを支援します。

皆さまの健康と安全を守ることを第一として、共にAfter-Corona時代に向けた、しなやか且つ強靱な、新しい大学創りを進めましょう。

そして、コロナ禍を乗り越え、大学が目指す理念の実現に向かって、皆さまと一緒に、さらなる努力を続けたいと考えています。





お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のある すべての女性にとって、真摯な 夢の実現の場として存在する

本学は、1875年の創立以来、日本の女子教育を先導して来ましたが、2001年に上記のミッションを掲げ、日本のみならず世界中の女性たちの学びの拠点となることを宣言しました。実際には、1903年から4年間に亘ってタイから4名の留学生受け入れたことに端を発し、世界への扉を開いて活動を続けていたのですが、国立大学の法人化を機に、特にアジア、アフリカ圏の開発途上国に注目して、女性や子ども達の教育に積極的に関与していく方針を打ち出しました。お茶の水女子大学が目指している「グローバル女性リーダーの育成」は、「世界中のすべての女性」がその資質・能力を活かして、社会を牽引する人材となることを希求しているのです。

そのミッションを具体化する実践として、2002年からアフガニスタン・イスラム共和国への女子教育支援を開始し、続いてアフリカ西部諸国での幼児教育支援にも取り組んで来ました。こうした活動を継続する中で、女性が多様な場でリーダーとして活躍できることを示し、女性の視点で世界中の人々の幸福を目指した教育や研究・開発を推進することが、私たちの大切な使命です。

年々進展するグローバル化と共に、現代社会は様々な課題を抱えるようになって来ました。そんな中で、145年にわたって教育・研究を積み重ねてきた本学の学術的資産を、社会に還元していくことがこれまで以上に求められていることを強く感じています。本学では、そうした問題解決に果敢にチャレンジできる人材としての「グローバル女性リーダー」育成のために、「グローバル女性リーダー育成研究機構」を設立し、その傘下に「グローバルリーダーシップ研究所」と「ジェンダー研究所」の二つの教育・研究機関を設置しました。女性が活躍できる裾野を広げるためには、社会の多様な場で、意思決定ができる立場にいる女性たちを増やすことが必要なのです。

また、本学の学術的資産を社会の役に立てるための研究組織として「ヒューマンライフイノベーション開発研究機構」を創設し、その下

に、二つの研究所を開設しました。子どもたちの心身の健全な発達を促し、生活習慣病の克服や高齢者の健康長寿をサポートするための研究を推進する「ヒューマンライフイノベーション研究所」と、教育と保育に関わる実践研究や子ども達の発達に関わる研究・教育を推進する「人間発達教育科学研究所」です。これらの組織における研究を通して、本学は、人々がその一生を通じて心身共に健康で幸せな生活を送れる社会を創ることを目指しています。

現代社会が抱える諸問題は益々複雑で多様なものになって来ますので、それらの問題を解決していくためには、特定の知識と考え方だけでは対応できなくなるでしょう。異文化を深く理解し、文系と理系が学び合い、お互いの可能性を高めることなど、「しなやか」な学びの姿勢が必要です。本学では、すべての学部・学科の垣根をできるだけ低くして、全ての学生が、文理融合のリベラルアーツやAI・データサイエンス科目を履修して、幅広い視野と教養を身に着けるための環境を構築しています。

そして本学には、学生の皆さまが将来の目標にできる多くの女性教職員の存在と、困った時に懇切丁寧に面倒を見てくれる環境があります。自由な雰囲気の中で、社会に根付いている役割意識にとらわれず、さまざまなことにチャレンジしていけることも本学の大きな魅力です。学生の皆さまには、一人ひとりの可能性を尊重し、決して「あなたにはムリ」とは言わないお茶の水女子大学の学風の中で、充実した学生生活を送って頂きたいと願っています。

室伏 きみ子学長からのビデオ
メッセージはこちらの QRコードから
ご覧ください ▶



学長からのメッセージ